

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-139	21-024	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳) Alcohol Consumption and Risk of Rheumatoid Arthritis among Chinese Adults: A Prospective Study 中国人成人におけるアルコール摂取と関節リウマチのリスク：前向き研究		
執筆者 VanEvery H, Yang W, Olsen N, Bao L, Lu B, Wu S, Cui L, Gao X		
掲載誌 Nutrients. 2021 Jun 29;13(7):2231. doi: 10.3390/nu13072231		
キーワード	PMID	
アルコール, コホート, 疫学, 前向き, 関節リウマチ	34209676	
要 旨 <p> 目的：アルコール摂取が関節リウマチ (RA) のリスクに及ぼす影響については、結論が出ておらず、この関連性における潜在的な性差の影響については検討されていない。この研究では、アルコール摂取が男女における RA 発症リスクの変化と関連するかどうかを検証する。 </p> <p> 方法：2006 年に開始された中国人集団における心血管疾患のリスク因子の検討を目的とした前向きコホート研究 (Kailuan Study) の 87,118 人を対象とした。ベースライン時に RA を発症していない者も含め、アルコール摂取レベルによって 3 群に分類し (非飲酒群 (一度もない、過去に摂取していた)、軽度または中等度の飲酒群 (女性：1 日あたり 1 サービング未満、男性：1 日あたり 2 サービング未満)、過度飲酒群 (女性：1 日あたり 1 サービング以上、男性：1 日あたり 2 サービング以上))、Cox 比例ハザードモデルを用いてアルコール摂取レベルによるハザード比 (HR) と 95%信頼区間 (CI) を算出した。RA の診断は、リウマチ専門医による医療記録レビューで確定した。 </p> <p> 結果：2006 年から 2018 年の間で 87 例の RA 発症を確認した。潜在的交絡因子 (年齢、性別、BMI、喫煙) で調整した後、RA の HR は、非飲酒群に対して、軽度または中程度の飲酒群で 1.26 (95% CI : 0.62, 2.56)、過度飲酒群で 1.98 (95% CI : 0.93, 4.22) であった。アルコール摂取量が 10g 増加するごとの HR は 1.11 (95%CI : 0.98, 1.26 p = 0.09) であった。アルコール摂取量と RA リスクとの間には、女性では有意な関連が認められたが、男性では認められなかった (交互作用 p = 0.06)。女性では、アルコール摂取量が 10g 増えるごとの RA リスクは有意に高かった (HR: 1.56; 95% CI: 1.06, 2.29)。一方、男性では RA との有意な関連は認められなかった (HR: 1.10; 95% CI: 0.97, 1.25)。過去飲酒者を除外しても、同様の結果が得られた。 </p> <p> 結論：アルコール摂取の増加は、女性では RA リスクの上昇と関連していたが、男性では関連を認めなかった。この知見により、今後アルコール摂取と RA リスクに関して研究を行う際には性差を取り入れて分析することが重要であると考えられた。 </p>		